

館内企画展レポート2014年度

平和祈念展示資料館

2014年度

2015年2月25日	企画展「カメラがとらえた引揚げと子どもたち」
2015年1月22日	特別交流展「引揚港・博多」
2014年10月29日	企画展『酷寒の地シベリアを描く 早田貫一抑留絵画展』

平成26年度第1回企画展は、『酷寒の地シベリアを描く 早田貫一抑留絵画展』を開催し、戦後強制抑留者の方々の労苦を紹介しました。

- 会期：平成26年6月24日(火)～9月21日(日) 午前9時30分～午後5時30分
- 会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

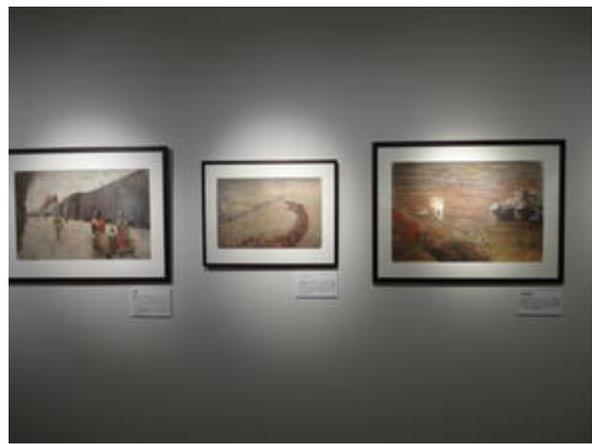
今回の企画展は、抑留を体験した早田氏が描いた水彩画のほか、抑留者が家族に宛てた俘虜用郵便葉書や、持ち帰ることができた思い出の品々など、60点を展示しました。

関連イベントとして、抑留者を勇気づけたメロディー「異国の丘」を題材に2つのトークイベントを開催しました。8月9日(土)には、吉田事務所の谷田郷士氏、ミュージシャンのスーマー氏をゲストに招き、当資料館の田久保忠衛参与を聞き手に、作曲者である吉田正さんにまつわるエピソードなどを、演奏を交えてお話いただきました。また、8月16日(土)には、劇団四季代表取締役社長の吉田智誉樹氏をゲストに招き、当資料館の増田弘名誉館長を聞き手に、シベリア抑留について、「ミュージカル 異国の丘」の映像を交えてお話いただきました。

[主な展示資料はこちら](#)



前期：展示風景



前期：展示風景



後期：展示風景



トークイベント：作曲家 吉田正さんの音楽で知るシベリア抑留



トークイベント：劇団四季「ミュージカル
異国の丘」で知るシベリア抑留

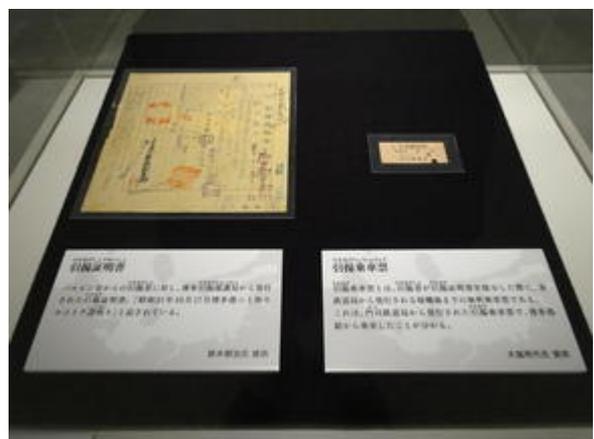
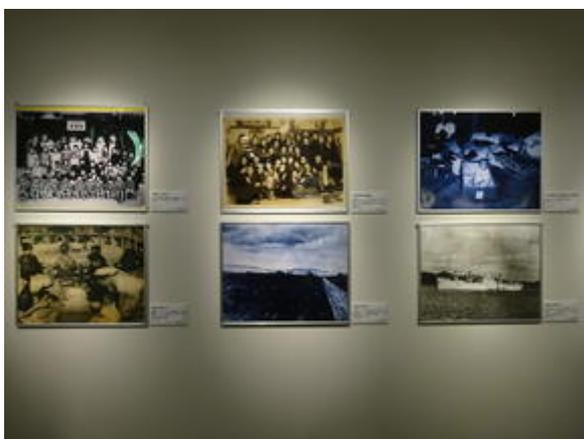


ギャラリートーク

平和祈念展示資料館は、福岡市と連携し、特別交流展「引揚港・博多」を開催しました。

- 会期：平成26年9月23日(火・祝)～10月26日(日)午前9時～午後5時30分
- 会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

今回の交流展では、福岡市が所蔵し、資料展「引揚港・博多」～苦難と平和への願い～で展示している博多港に関連する写真や資料をパネルで20点展示したほか、当資料館が所蔵する、博多港への引揚者が使用した実物資料2点を展示しました。



平成26年度第2回企画展は、「カメラがとらえた引揚げと子どもたち」を開催し、引揚げの労苦を紹介しました。

- 会期：平成26年10月28日(火)～平成27年1月25日(日) 午前9時30分～午後5時30分
- 会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

今回の企画展では、飯山達雄氏と三宅一美氏が撮影した写真52点を中心に展示し、引揚げ船の様子や子どもたちの姿を紹介しました。

関連イベントでは、自らの引揚げ体験を絵本や小説として執筆されている増田昭一氏の作品をとりあげ、引揚げの混乱により孤児となり、満州(現・中国東北部)の収容所で命を落としていった子どもたちの物語を、俳優の渡辺郁也氏による絵本読み語りと、今夏放送されたドラマ『遠い約束～星になった子どもたち』(協力：TBSテレビ)の特別上映によって紹介しました。



絵本読み語り



ドラマ上映